

# 元気な 事業所ファイル

## 株式会社まるごと農場

(株)まるごと農場(代表取締役・吉井和久さん)は、久木野地区の農林業を地域で守り継いでいくために、地域の農家の有志が出資して平成26年に設立された農業法人です。水稻の育苗から田植え、稲刈り、乾燥、籾すり、出荷まで、稲作のさまざまな作業の他、山林の間伐作業なども請け負っています。

同社は、後継者不足に悩む農家にとって、高齢化などで個々では難しくなった作業を委託できる受け皿です。こうした受け皿が地域に組織としてあることで、農家は、自らできる作業をしながら、必要な助けを得て農業を続けることができます。

それでも、後継者不足が解決する訳ではありません。家族経営の農業で、農業機械などを個々に導入することは、大きな負担です。こうした「ハードルの高さ」が、若者が農業を敬遠する一因となっています。代表の吉井さんは「若い人は、決して農業を嫌がっているわけじゃない」と話します。その証拠に、同社で働く従業員は、20代～40代の若い人ばかり。同社が、組織として機器をそろえるなど「働ける場」を整えることで、農業に取り組む後継者を育てることに、力を注いでいます。

こうした取り組みが評価され、平成29年度熊本県農業コンクール大会では「地域農力部門特別賞」を受賞しました。同社の「地域の農林業を守り継ぐ」という思いは、社名そのもの。「まるごと農場」。ひとつの地域を、ひとつの農場として、みんなで維持していく。久木野のお米はおいしいよ!と、いつまでも自慢できるように、地域と強く結びつきながら、一歩ずつ進んでいます。



(写真上段) 稲刈りをはじめ、さまざまな作業を受託する。(下段左) 手作業での害虫防除作業。山間の久木野地区では、農協による空中からの「ヘリ防除」を行うことができない場所も多く、同社の担う役割は大きい。(下段右) 同社のライスセンター。大型の機器をそろえ、収穫後の製品化に対応する。(右下) 久木野のお米「棚田米」。地域の自慢の味を一度味わってみては。

「まるごと農場」という社名は、地域全体を一つの農場として取り組んでいこうという思いから名付けたものです。

株式会社まるごと農場は、次のような理念のもとに活動しています。



★地域の農業と林業は、地域で守りぬく。

---- 田んぼも森林も地域の宝。その宝をみんなで力を合わせて守ります。

★地域の中心となり、地域住民の拠り所となる。

---- 地域の人たちに頼りにされるプロ集団を目指します。

★誰もが住みたくなる地域を目指す。

---- 自分たちの住む地域に誇りを持ち、自慢できるようにします。

